

喜多流自主公演

令和五年五月

令和5年 5月6日(土)
※観日にご注意ください
12:00 開演 (11:00 開場)

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

前売開始：令和5年 2月1日(水) 午前10時～

料金：全席指定(税込)

S席 10,000円 A席 9,000円 B席 8,000円

C席 7,500円 学生席 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

熊 楊 玉
坂 貴 妃 井
佐 塩 狩
藤 津 野
陽 哲 生 了 一

令和5年度喜多流自主公演について

喜多能楽堂改修工事の為、令和5年度自主公演(令和5年5月～令和6年3月)の会場は **観世能楽堂** となります。

- ◆ 指定席券販売中。
- ◆ 令和5年度は全7回公演になります。
- ◆ 令和5年度 喜多流自主公演年間優待券(税込)
7枚綴 56,000円 / 5枚綴 40,000円
販売中

◆ 会場 観世能楽堂 観世能楽堂ホームページ ▶▶▶



チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

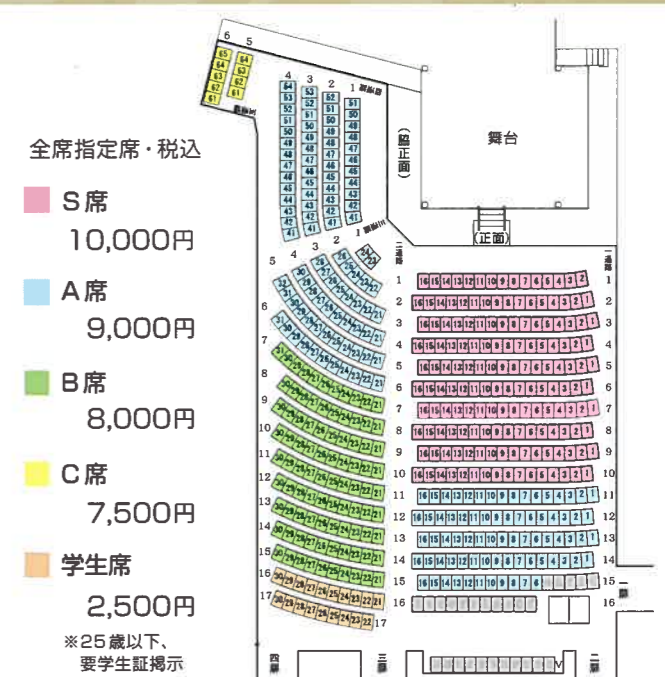
チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせてのご来場をお願いいたします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・能楽堂内に食堂はございません。GINZA SIXまたは近隣の飲食店をご利用ください。
- ・観世能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

自主公演観客席御案内



会場案内

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階

会場に関するお問い合わせ TEL. 03-6274-6579 (観世能楽堂)

観世能楽堂ホームページ <https://kanze.net/>

公演に関するお問い合わせ TEL. 03-3491-8813 (喜多能楽堂事務局)

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



- ・銀座駅 東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線 A2出口、A3出口より徒歩2分
※ 銀座駅とGINZA SIX地下2階をつなぐ連絡通路がございます
- ・東銀座駅 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- ・有楽町駅 JR山手線・京浜東北線・東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分
- ・車でお越しのお客様 GINZA SIX内に併設の駐車場がございます。詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。
- ・能楽堂へは、三原通り側・トラベルローソン横のエスカレーター・エレベーターをご利用いただくと便利です。中央通り側入口からは、能楽堂までの直行エレベーター・エスカレーターはございません。
- ・土曜日・日曜日・祝日の中央通りは、歩行者天国となり、平日と異なりますのでお車で来場の際はご注意ください。

現在、国及び東京都からの要請に伴い、定められた要件及び感染症対策を行った上で公演を行っております。お客様におかれましても、ご来場の際には、館内での常時マスク着用や手指消毒、私語をお控え頂くなど、感染予防の為の行動にご協力をお願いいたします。 ※令和5年3月12日現在

観世能楽堂感染症予防の取り組みとご協力のご案内
<https://kanze.net/publics/index/465/>



能

後シテ連・玉依姫 金子龍晟
後シテ連・豊玉姫 谷友矩
前シテ連・玉依姫 狩野祐一
後シテ・海神 狩野了一
前シテ・豊玉姫

玉井

ワキ・火出見尊 大日方寛
ワキ連・従者 野口能弘
ワキ連・従者 御厨誠吾

大鼓 亀井広忠 太鼓 林雄一郎
小鼓 鶴澤洋太郎 笛 槻宅聡

アイ・鱗の精 野村裕基

後見 香川靖嗣
大島輝久

地謡 高林昌司 粟谷充雄
友枝真也 金子敬一郎
佐々木多門 長島茂
塩津圭介 内田成信

休憩(二十分)

狂言

空腕

シテ・太郎冠者 野村万作

アト・主 内藤連

能

シテ・楊貴妃の霊 塩津哲生

楊貴妃

玉簾

ワキ・方士 宝生欣哉

大鼓 安福光雄 松田弘之
小鼓 曾和正博

アイ・常世国の者 石田幸雄

後見 内田安信
谷大作

地謡 狩野祐一 高林呻二
佐藤寛泰 中村邦生
塩津圭介 出雲康雅
谷友矩 大島輝久

休憩(十分)

仕舞

通盛

金子敬一郎

地謡 高林昌司
内田成信
友枝雄人
粟谷充雄

能

後シテ・熊坂の霊 佐藤陽

熊坂

ワキ・旅僧 村瀬提

大鼓 柿原孝則 太鼓 林雄一郎
小鼓 飯富孔明 笛 成田寛人

アイ・赤坂の里人 中村修一

後見 友枝昭世
佐々木多門

地謡 金子龍晟 粟谷浩之
佐藤寛泰 粟谷明生
友枝真也 大村定
高林昌司 友枝雄人

附祝言

終了予定時刻 六時頃

玉井(たまのい)

火出見尊(ほほでみのみこと)は兄の釣針を魚に取られてしまい、剣を崩して釣針にして返したが許されなかった。しかたなく海の中に入り探している。海神(わたつみの)都に着いた。竜宮の門前に玉井と桂の木があった。木の陰で様子を見てみると、豊玉姫と玉依姫が水を汲みに現れた。井戸の水に映る尊に気づき、名前や理由を尋ねて竜宮に案内した。姫たちの父母は尊の話の聞き、釣針を捜す約束をしてもてなすうち三年が過ぎた。尊は自分の国へ帰ることにし海路のしるべを尋ねると、豊玉姫は海中の乗物はさまざまあるので安心するようにと言って立ち去った。(中入)
尊が待つところへ二人の姫が現れ、潮満玉と潮干玉を捧げ、続いて現れた竜王は釣針を捜し出して尊に捧げた。二人の姫は美しく舞い、竜王もおごそかに舞ううちに時間が経ち、尊を五丈の鱗に乗せて陸に送り届け、竜王も竜宮へと帰って行った。
(約二〇分)

空腕(そらうで)

ある夕方、主人の命で使いに出かけた太郎冠者。用心のため主人から太刀を借りていたが、臆病な冠者は物影を追剥と思い込み、命乞いをして太刀まで差し出してしまふ。様子を見るため密かに後をつけていた主人は腹を立て、冠者を打ち太刀を取り上げ家に戻る。ようやく帰宅した太郎冠者は主人に、途中大勢の男たちと戦い散々にやつつたが、ついに太刀が折れてしまい、投げつけて逃げ帰ってきた、と語るが…
「空腕」とは偽りの腕自慢のこと。前半はいないものにおびえる姿、後半は見えない敵を倒す大袈裟な武勇伝を表現する、太郎冠者の独演が見どころ。
(約三十五分)

楊貴妃 玉簾(ようきひたますだれ)

唐の皇帝、玄宗の命を受けた方士は、馬嵬の駅で殺された楊貴妃の魂魄のありかを捜しに、常世の国の蓬萊宮へやってくる。方士は、楊貴妃が亡くなってから玄宗の嘆き哀しむ姿を玉妃と名を変えた楊貴妃に伝え、蓬萊宮にきた証拠が欲しいと言くと、楊貴妃は玉の釵(かんざし)を渡す。しかし方士はそれよりも玄宗と交わした契りの言葉を覚えて欲しいと言う。すると、七夕の夜に比翼の鳥、連理の枝のようになろうと二人で誓い合ったと話す。更に自分はずっと天上界の仙女だったが人間の姿となって生まれ、そして玄宗に出会ったのだと昔を物語る。想い出の羽衣(うい)の曲を舞い、再び玉の釵を方士に持たせ、後ろ姿を一人寂しく見送るのであった。
(約九十五分)

熊坂(くまさか)

旅の僧が美濃の赤坂にさしかかったとき、一人の僧に呼び止められ、今日はある者の命日だから弔いを頼むと言われ、その僧の庵室に導かれる。持仏堂に案内されるが、仏像はなく薙刀や鉄の棒が置いてあるので驚き尋ねると、この辺は山賊夜盗が多いので用心に備えてあるのだという。夜更けて寝室に入るかと見えていつしかその姿も庵室も消え、気がつくとも旅僧は野原にいる。(中入)丁度通り合わせた赤坂の里人からこの地で果てた盗賊の話の聞き、庵室の僧は熊坂長範の霊の仮の姿だったと気付く。旅僧が弔いをする、長範の霊が昔の姿で薙刀を手にして現れる。霊は生前に金商人吉次の一行の泊まる旅館を大勢で攻め入ったが、その中にいた牛若に逆に斬り散らされ、自分も命を落とした仕方話で物語り、松が根の露霜とともに消えてゆく。
(約八十分)

令和五年 七月 自主公演番組予告

令和五年 七月二十三日(日) 正午始

観世能楽堂

指定席券販売中

竹生島 長島 茂
六浦 出雲 康雅
雷電 友枝 雄人

替装束